

## 第12回（平成3年度）研究助成金、海外派遣・

### 招聘補助金受領者

（受領者の所属等は申請時）

#### I 癌研究助成金

該当者なし（応募件数3件）

#### II 研究助成金（1件100万円、15件、総額1,500万円）

「位置選択的ジスルフィド架橋反応を用いる血圧調節ペプチドの合成」

（京都薬大・助教授） 赤路 健一

「c-myc タンパク質の DNA 複製と転写における機能」

（北大・医療技術短大・講師） 有賀 早苗

「リン酸イオンの反発力を利用したイオン化学種の分離分析法の研究」

（岐阜薬大・助手） 宇野 文二

「イオン輸送に関与するスフィンゴ糖脂質の合成」

（阪大・薬・助教授） 渋谷 博孝

「生合成模擬反応を機軸とする変形モノテルペノイドインドールアルカロイドの合成」

（千葉大・薬・助手） 高山 廣光

「マクロファージにおけるアラキドン酸に選択性を有する代謝機構の解析」

（北里大・薬・教授） 中川 靖一

「ニューモシスチス・カリニの分子生物学とカリニ肺炎医薬品開発の基礎研究」

（東大・医科研・助教授） 中村 義一

「細胞指向性をそなえたウイルスカプセルの開発」

（東工大・生命理工・助教授） 永田 恭介

「液体クロマトグラフィーに用いる新吸光度検出法の開発」

（金沢大・薬・助教授） 早川 和一

「レプトスピラの5Sリボソーム RNA (rRNA) 遺伝子転写に関する研究

（福山大・薬・教授） 福長 将仁

「化学選択的固定化法を用いる合成ペプチドの一段階精製法の開発と

生理活性ペプチド合成法への応用」

（京大・薬・助教授） 船越 奨

「テトラサイクリン排出蛋白の遺伝子工学的研究」

（千葉大・薬・助教授） 山口 明人

「肝薬物代謝酵素の内分泌による制御機構」

（慶応大・医・助教授） 山添 康

「光学活性インドールアルカロイド類の合成研究」

（東邦大・薬・助教授） 横山 祐作

「高親和性 IgE レセプターレベルでの I 型アレルギー特異的な治療」

（順天堂大・医・講師） 羅 智靖

（応募件数40件）

#### III 研究者の海外派遣補助金（1件40万円以内、8件、総額250万円）

（前期）

「第9回国際動脈硬化シンポジウム」1991. 10. 6～11 アメリカ・シカゴ

（帝京大・薬・教授） 高野 達哉

（後期）

「第9回植物膜の生物学に関する国際ワークショップ」1992. 7. 19～24 アメリカ・モントレール

（岡山大・薬・助教授） 池田 己喜子

- 「第2回生殖器細胞間マトリックスの生合成, 分解およびそのホルモンによる調節に関する国際会議」1992. 5. 20~29 カナダ・トロント (東京薬大・助教授) 伊 東 晃
- 「アメリカ化学会第203年会」1992. 4. 5~10 アメリカ・サンフランシスコ  
(放医研・主任研究官) 小 沢 俊 彦
- 「第7回ヨーロッパ・バイオエナジェティックス会議」1992. 7. 26~31  
フィンランド・ヘルシンキ (千葉大・薬・助手) 柿 沼 喜 己
- 「第19回国際天然物化学シンポジウム」1992. 4. 28~30 メキシコ・モンテレイ  
(京都薬大・助手) 木 島 孝 夫
- 「第3回国際医学微量元素会議」1992. 5. 29 スウェーデン・ストックホルム  
(国立環境研・室長) 鈴 木 和 夫
- 「第3回糖質研究の技術水準に関する国際会議“糖質研究のフロンティア3”」1992. 4. 21~23  
アメリカ・ウェストラファイエット (北里研・東洋医研・部長) 山 田 陽 城  
(応募件数10件)

#### IV 海外からの研究者招聘補助金 (1件50万円, 2件, 総額100万円)

- 「日本薬学会第112年会」1992. 3. 29~31 福岡  
(ドイツ・ミュンヘン大・教授) M. H. チェンク
- 「日本薬学会第112年会」1992. 3. 29~31 福岡  
(アメリカ・ノースウェスタン大・医・教授) 檜 橋 敏 夫  
(応募件数2件)